

父母説明会資料

1年生向け



応用バイオ科学科
学科長 飯田泰広

応用バイオ科学科の5つの教育目標

①人間性豊かな 人材育成

・ 全人教育

②実社会で即戦力 となる人材育成

・ 実学重視

応用バイオ 科学科

③国際社会に対応 可能な人材育成

・ 国際性の涵養
・ 海外体験教育

④地域社会との連携

・ 地域社会・地球社会に
貢献できる人材育成

⑤チャレンジ精神

・ 困難や変化に立ち向
かっていける人材育成



応用バイオ科学科

生命科学
コース

40名

生命現象の解明

科学(基礎)志向型

応用バイオ
コース

85名

バイオ技術者の養成

開発(応用・実学)志向型

理

工

農

医生命科学特別専攻コース
(特待生制度)



充実したアクティブラーニングプログラム



バイオサイエンスセンター

高度で先進的な実験設備を備えた、研究者をめざす人の学ぶ意欲にも応える施設。
「食品衛生管理者」など資格試験の対策にも対応できる機器を設置しています。

◆ 設置施設

バイオ実験室A・B・C / 機器分析室A・B / バイオ演習室 / クリーンベンチ室 / 食品加工室 / 遺伝子実験室 / 微生物実験室 / 植物培養室 / 動物飼育室 / 動物細胞培養室 / 水生動物室 / 低温室 / 培養室 / 植物工学センター

◆ 実験設備

DNAシーケンサー / プロテインシーケンサー / リアルタイムPCR装置 / PCR装置 / アミノ酸分析装置 / ゲル解析装置 / 共焦点レーザー顕微鏡 / 走査型プローブ顕微鏡 / フローサイトメトリー / マルチプレートリーダー / 生化学分析装置 / UPLC-TOF-MS / GC-MS / ICP発光分析装置 / 培養装置 (コンピューター制御) / クリーンベンチ など



バイオメディカル研究センター

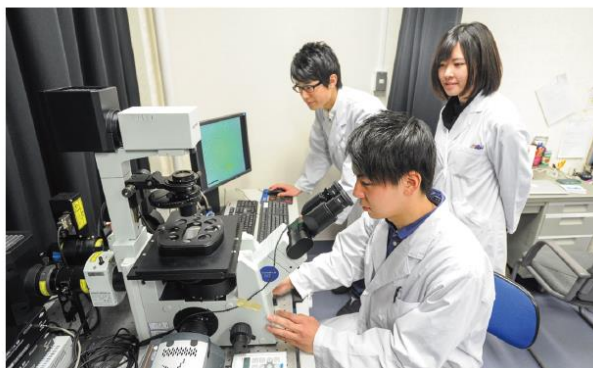
最先端の高度な研究機器を備え、
医薬品開発や医療技術開発の基盤
研究に取り組める施設です。

◆ 設置施設

生化学実験室 / 顕微鏡室 / 低温実験室

◆ 実験設備

等温滴定型カロリーメトリー / Biacore / インキュベータ蛍光顕微鏡 (タイムラプスイメージングシステム) / セルソーター



卒業生が活躍している企業（順不同）

- | | | |
|------------------|---------------|----------------------------|
| ・秋本食品(株) | ・東洋合成工業(株) | ・横浜冷凍(株) |
| ・アサマコーポレーション(株) | ・(株)中村屋 | ・リコージャパン(株) |
| ・アツギ(株) | ・日東ベスト(株) | ・レイズネクスト(株) |
| ・越後製菓(株) | ・(株)日本色材工業研究所 | ・ロシュ・グリアグノスティックス(株) |
| ・カネ美食品(株) | ・日本電子(株) | ・わかもと製菓(株) |
| ・関東化学(株) | ・日本農産工業(株) | ・金融機関(北都銀行、
横浜信用金庫など) |
| ・(株)紀文食品 | ・長谷川香料(株) | ・地方自治体職員(富士宮
市など) |
| ・協和発酵キリン(株) | ・ファンケルグループ | ・中学、高校教員 |
| ・(株)江東微生物研究所 | ・フジパングループ | ・大学職員(秋田大学、
東海大学など) |
| ・ジーエルサイエンス(株) | ・水ing(株) | ・大学教員(東京大学、
東京女子医科大学など) |
| ・(株)シーボン | ・三菱化工機(株) | |
| ・(株)スリーボンド | ・メルク(株) | |
| ・第一屋製パン(株) | ・森永乳業(株) | |
| ・中外製薬(株) | ・(株)ヤマザキ | |
| ・月島テクノメンテサービス(株) | ・(株)雪国まいたけ | |

他

大学院進学

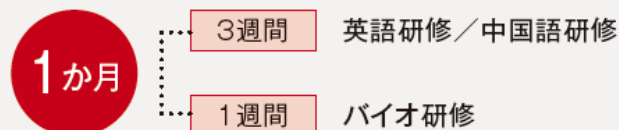
※本学科教員による卒業研究指導学生の大学院進学実績

- 本学大学院
○他大学大学院
- ・北海道大学大学院
 - ・東北大学大学院
 - ・筑波大学大学院
 - ・千葉大学大学院
 - ・東京大学大学院
 - ・東京農工大学大学院
 - ・東京都立大学大学院
 - ・横浜国立大学大学院
 - ・横浜市立大学大学院
 - ・山梨大学大学院
 - ・静岡大学大学院
 - ・富山県立大学大学院
 - ・奈良先端科学技術大学院大学
- 他

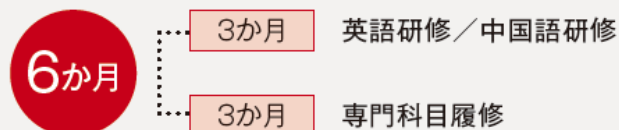
海外留学プログラム

国際感覚を持った人材育成のため、短期（1か月）・長期（6か月）で「海外バイオ研修」を実施。バイオのための語学教育からステップアップし、最終的には英語や中国語でバイオ技術を身につけることを目的としています。また、世界の人々と交流を深め、見識を広げることも目標のひとつです。休学しないで、長期留学（半年）できるカリキュラムは、国内の理系大学では非常に珍しいプログラムです。

短期 海外バイオ研修Ⅰ



長期 海外バイオ研修Ⅱ



父母説明会資料（教務関係） 1年生向け

応用バイオ科学科



	標準	黄信号	赤信号
Ⅰ 年前期終了時目標単位数：	25単位	-	-
Ⅰ 年後期終了時目標単位数：	45単位	35単位	30単位

●3年終了次までに所定の単位数と条件科目を修得しておかないと、卒業研究の履修ができません。

●卒業研究履修要件 合計 **104単位以上**

●卒業要件 合計 **124単位以上**

他の条件もあります。

履修要綱に記載されています。



必修科目の単位取得ができているか、ご確認ください。

必修科目（例）

- ・スタディスキル
- ・現代社会講座
- ・英語
- ・キャリア設計
- ・化学・生物学基礎ユニットプログラム
- ・生命科学I
- ・バイオ工学基礎（Bコース）

必修科目は卒業までに単位取得が必要な科目です。



応用バイオ科学科 教務委員連絡先

卒業のために必要な単位等についてご不明な点があれば、以下のメールアドレスに、ご連絡下さい。

bkyoumu@ml.biokait.jp

教務委員：清水 秀信，仲亀 誠司，和田 理征

